

令和7年度花巻市宮沢賢治イーハトーブ館運営審議会会議録

1 開催日時

令和7年7月30日（水） 午後1時30分～2時40分

2 開催場所

宮沢賢治イーハトーブ館 講義室

3 出席者

（1）委員

出席委員（7名）

北山公路委員、平賀陽一郎委員、牧野幹委員、高橋則子委員、玉山領一委員
小原節子委員、岩田行平委員、

欠席委員（3名）

大野眞男委員、佐々木勝也委員、押切和美委員

（2）事務局（5名）

菅野生涯学習部長、青木館長、小原主幹、柳原副館長、中島

4 傍聴者 0名

5 次第

（1）開会

（2）あいさつ

（3）議事

①令和6年度宮沢賢治イーハトーブ館事業報告

②令和7年度宮沢賢治イーハトーブ館事業計画（案）

（4）その他

（5）閉会

6 議事録

各委員の発言要旨は以下のとおり

[事務局 中島]

それでは開催をさせていただきたいと思います。本日はご多用中にも関わらず、ご出席をいただきまして、大変ありがとうございます。それでは、開会に先立ちまして、本日ご出席の委員の皆様をご紹介します。

(出席委員 6 名および欠席委員 4 名、職員（事務局） 5 名を紹介)

本日の運営審議会におきましては、委員 10 名中、現在 6 名の委員に出席いただいております。(のちほど平賀委員が出席し計 7 名の出席となった。) 宮沢賢治イーハトーブ館管理運営規則第 7 条第 2 項に規定する半数以上の委員の出席がございましたので、本日の運営審議会が成立いたしますことを開会に先立ち、報告をさせていただきます。また、本運営審議会は、花巻市審議会等の会議の公開に関する指針に基づき、原則として公開するものです。会議結果につきましても、会議録を含め、花巻市のホームページに公表するものでございます。会議録につきましては、事務局で作成したものを皆様に郵送し、確認していただいた上で、公開することといたしますので、よろしくお願いいたします。そして、会議録作成のため、本審議会を録音させていただきますので、ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

それでは、ただいまから、宮沢賢治イーハトーブ館運営審議会を開会いたします。開会にあたりまして、菅野生涯学習部長よりご挨拶を申し上げます。

[菅野生涯学習部長]

猛暑の中、出席いただきまして大変ありがとうございます。猛暑ということで、水不足を懸念されるような状況になっております。また、ご存じのとおり熊が毎日のように目撃されていますが、日曜日には宮沢賢治記念館に登っていく階段の周辺でも目撃情報があり、現在、この階段と南斜花壇付近を通行止めにする措置を施してございます。山なので、罾を仕掛けることも難しく、まずは追い払いをするというような状況です。

本日は令和 6 年度の事業の報告と令和 7 年度の事業計画について、また、令和 8 年度には賢治の生誕 130 年というのも控えておりますので、ぜひ皆さんからいろいろご意見いただきまして、館の運営事業を宮沢賢治学会と連携しながら、よりよい方向に進めていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

[事務局 中島]

続きまして、青木館長よりご挨拶を申し上げます。

[青木館長]

失礼いたします。私は昨年9月に宮沢賢治学会の総会で代表理事になりまして、ここの館長に就任いたしました。私は皆様ご存知の通り広島に住んでおりますので、こちらに来る機会も限られており、普段からいるというわけにいきませんので、今回もどの程度勤められるかと危惧しておるところです。

来年度の130年の記念の国際研究大会がございますので、ぜひこれまで以上に皆様方にご協力、ご支援をいただきまして、イーハトーブ館の運営に努めてまいりたいと思っております。今日は忌憚ないご意見をいただき、それに向けて対応してまいりたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

[事務局 中島]

ありがとうございました。それでは、次第の3. 議事でございます。宮沢賢治イーハトーブ館管理運営規則第6条第2項におきまして、会長は会議の議長となると規定しておりますので、ここからは玉山会長に進行をお願いいたします。玉山会長よろしくお願いいたします。

[玉山会長]

よろしくお願いします。さっきもお話ありましたが、非常に猛暑が続きましたですね、私の記憶だと今月の5日頃に雨が降って、それ以来降っていないんじゃないかと思うんですよ。そうすると大体25日間全然降っていないんですね。昨日なんか37度って言われて、もう輻射熱ですごかったですよね。暑くて。こんなのがまだ続いたら、田んぼが本当に干上がってしまって、どうなるのって。こんどは台風が来てくれればいいなと思っています。こういうのは本当に不慣れでございますが、どうぞ皆さんよろしくご協力お願い申し上げます。

それでは、議事に入らせていただきます。今日の議事は2件ございます。

それでは議案第1号の令和6年度宮沢賢治イーハトーブ館事業報告をご説明願います。

[柳原副館長]

(令和6年度宮沢賢治イーハトーブ館事業報告資料を基に説明)

[玉山会長]

ご質問、ご意見等ございましたら、お願いしたいと思います。

[牧野委員]

「賢治さんの世界を描く絵画展」ワークショップの参加者が、16名となっていますが、これは延べ人数になりますか？実数は8名でしょうか。

[柳原副館長]

16名は延べになります。実数は8名です。

[牧野委員]

わかりました。それで、3月の展示の様子も見せていただいたんですけれども、ワークショップの様子を映像を使って来館者に紹介をされていました。これはワークショップが身近に感じられて、それがすごくいい取り組みになってるなって思いました。

たくさん市内の生徒さんの作品が飾られていたんですけれども、市内のある学校ですね、すごくいい作品を校舎内に展示しているのを偶然見かけることがあったんです。1月から2月にかけてのところだったのでしょうか。ちょうどこちらの方でもやってるってことで、とってもいい作品があるので、イーハトーブ館の方に出すことを考えませんでしたかっていうふうにお聞きしたんです。そちらでは。そしたら知らなかったっていう話があったので、すごく残念に思いました。多分一度、各学校さんには紹介されていると思うんですけれども、もう一押し of 広報が必要なのかなと思って、せっかくたくさんのお子さん of 作品を目にする機会でもあるので、ぜひ今年度の進め方として考えていただければありがたいなと思いました。以上です。

[玉山会長]

ありがとうございます。どうですか。

[柳原副館長]

実際にワークショップ参加される児童は少ないと感じておりますし、各学校から出展される絵画をもっと増やしていかなければならないなと考えます。今年度実施する際には宮沢賢治学会と相談しまして、周知徹底を図っていきたいと思います。

[玉山会長]

よろしくお願いします。その他何かありますか。

[菅野生涯学習部長]

賢治まちづくり課では、アートストリートを実施していて、新花巻駅から宮沢賢治記念館に来る道の途中に絵を飾っています。これは市内の学校に声をかけるなど、小中学生にも描いていただいています。この取り組みと連携していくこともできるのではないかと思います。作品は童話村にも展示します。

[北山委員]

私は観光協会の企画委員もやっております。去年、新花巻駅から童話村まで企画委員会全員でずっと歩いて観光客目線でチェックしてみました。アートストリートがあることは正直言って参加した人全員がそれを初めて見たということでした。これはもうちょっと広報しなきゃダメなんじゃないかなっていう話をされてました。イーハトーブ館で行うワークショップによる作品展示を行う中で、この展示品から徒歩ルートへ飾りだす作品をピックアップしてみることもいいのではないのでしょうか。

このことにより、ワークショップに参加し展示され、さらにアートストリートとして飾られるという、またすぐその先も見えてくることにより、参加者のモチベーションにはつながるのかなと思います。

[菅野生涯学習部長]

アートストリートだけでやるよりは、せっかくの作品をもっと生かしていける感じがありますね。アートストリートの展示作品ももう少し大きければよかったですけども、賢治まちづくり課ができた十数年前から取り組みを行っており、もっと目立つように取り組んでいくことが必要だと思っています。

[青木館長]

ワークショップで作成された作品を、宮沢賢治賞の贈呈式の時に会場展示するなども良いのではと思います。このことにより作品を作成した子どもたちが宮沢賢治賞の贈呈式も参加してくれるということも期待できると思います。

[玉山会長]

ありがとうございます。その他意見等ございますか。意見等がないようですので、議案第1号は承認されました。

続きまして、議案第2号の令和7年度宮沢賢治イーハトーブ館事業計画案を説明してください。

[柳原副館長]

(令和7年度宮沢賢治イーハトーブ館事業計画案資料を基に説明)

[玉山会長]

このことについて、何かご質問、ご意見等ございませんか。

[青木館長]

一昨日、宮沢賢治学会主催の夏季セミナーを開催しました。参加者が少なく、ということがありまして、広報のやり方も考えなければならぬと思っておりましてので各委員のご協力をいただければと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

また、花巻市民の方の姿があまりなかったなっていうのがありまして、令和8年度開催予定である国際研究大会に向けて花巻市民にも関心を持っていただきたいなというふうに思っています。

[玉山会長]

夏季セミナーの様子をビデオなどで見せるようなことはできないのでしょうか。

[柳原副館長]

夏季セミナーについては記録用として撮っていたものがあります。各事業報告について実施写真などにご興味のあるかたにはお見せできるようにしておきたいと思います。

[北山委員]

私は研究者でもなんでもないんですけど、夏季セミナーはすごく面白いと思いました。一般の方にもぜひ聞いていただきたい内容だったなと思います。

[小原委員]

今年から全国童話大賞がなくなったそうですけれども、非常にいい企画で、とてもいい作品を発表してるんですね。ですけれど、市民の参加はないし、ほとんど新聞社か関係者の参加になっていると思います。東和賢治の会会員にはいつも言うんですけど、なかなかみんな知らないようです。広報活動をちょっと研究していただくことをお願いしたいです。イーハトーブ館の入館者は減ってきているようです。私は今日ここに来てみて、良い企画やってるのに、入館者が少ないと感じました。これはもったいない話な気がしますね。すごく良い企画がいっぱいなさってるのに、おそらく市民は知らないのではないのでしょうか。宮沢賢治記念館の方は入館者は増えてるんですよね。来館時には、イーハトーブ館で色々企画展をやっていることを来館者に伝えていただきたいと思います。

[小原主幹]

賢治記念館では、イーハトーブ館のご紹介、また、ポスターを表示しています。

[小原委員]

宮沢賢治記念館は一般受けもよく、子どもも楽しめるような展示になっていると思います。イーハトーブ館はすごくいいと思うのですが、入館者が少ないと感じます。色々と修繕対応もしているようですし、また駐車場付近の噴水階段も子どもに人気があると思って

います。立地的に主要道路から入り込んだ施設なので目立たないのだろうと思います。現在開催中の展示会については、表示板などは駐車場に掲示していたでしょうか。広報活動を工夫していく必要があると感じます。

[菅野生涯学習部長]

イーハトーブ館の位置づけっていうのを認識してもらうのが難しいのかなと思っています。

[小原委員]

宮沢賢治記念館に来る方は車で来られると思います。その際には「イーハトーブ館にも駐車場あります」と案内していただくことも必要と思います。

[小原主幹]

宮沢賢治記念館では案内看板の設置をしており、イーハトーブ館を含め、来館者が別の施設も訪問していただけるように他の施設を紹介しています。

[小原委員]

色々広報はされていると思いますが、委員我々が口頭で広報していくことも必要と思います。夏に行われるイーハトーブフェスティバルは大盛況のようで、各駐車場も混雑すると聞いています。市民がもっと訪れるようになって欲しいと思います。

[青木館長]

イーハトーブの位置づけということについては、キャッチフレーズの的にちょっとつけるという工夫の余地はあると思います。

[北山委員]

イーハトーブ館の位置づけとしてレファレンスという意味での役割は、すごく大事な役割としてあると思うので、あとは一般向けに、どうハードル・敷居を下げるかだけだと思います。今年の企画展とか見れば結構ポップな感じでやられてると思います。企画展のタイトルの付け方では、学術的なタイトル付けちゃうと、敬遠されがちなので、分かりやすい感じの方が良いだろうと思っています。

[小原委員]

私は個人的に東京の知人に宮沢賢治イベントカレンダーを配ろうと思っています。個人による広報活動と行政による広報活動それぞれ工夫が必要と感じています。

[玉山会長]

ありがとうございます。その他ありますか。

[牧野委員]

来年、賢治生誕 130 周年ですね。私のお聞きしたいのは、バリアフリー対応についてです。主要道路からの入り口の上のところと、それから職員通用口の方に車椅子の方は、どうぞこちらの方に、という案内があって、多分それを見かけた方は裏の方からお入りになることもあると思うのですが、実際にはどのくらいの利用があるのでしょうか。

[事務局 中島]

今年度に入ってから車椅子で来られた方が 2、3 名いらっしゃいました。その場合は 1 回お電話いただいて、裏口の方をご案内して、職員が裏口から誘導するという対応をしています。

[牧野委員]

イーハトーブ館は、男子トイレも女子トイレも段差があって、ちょっと使いにくいだろうなって思うことがあったり、館内を車椅子で歩く時に動きにくくないだろうかと気になります。これは、以前に私が他の方にイーハトーブ館の企画展を案内した際に「あそこは階段があって行きにくい」という話を聞きました。裏（職員通用口）の方から入れますよっていうことを案内したのですが、結局来られなかったようです。もっとバリアフリー対応していくことが必要と思いました。

[柳原副館長]

表示方法含め少しずつ検討していきたいと考えます。

[玉山会長]

この施設は階段が多く、高齢者には利用しにくいと感じます。

[菅野生涯学習部長]

宮沢賢治記念館も山の上に設置されていて徒歩で上がれるように階段を設置していますが、高齢者等には利用しにくいものです。バリアフリー対応については、施設の改修も関わるので、将来に向けた課題と思っています。

[玉山会長]

ありがとうございます。それでは議題第 2 号ですが、ご承認いただけるでしょうか。意見等がないので議案第 2 号は承認されました。ありがとうございます。

それでは、議事はこれで終わりですが、それ以外で何か、お話ししていただければと思います。

[高橋委員]

昨年度は、「シャトルバスを運行して繁忙期に運行しました。」と資料に書いてあります。今年度のシャトルバス運行計画はありますか？

[柳原副館長]

今年度の計画はあります。シャトルバスは運行します。

[高橋委員]

利用者は多いのでしょうか。

[柳原副館長]

お盆期間、ゴールデンウィーク、9月のシルバーウィークには非常に利用が増えます。

[小原委員]

資料9ページの「第5回宮沢賢治で卒論・修論書いてみる？」はどのようなものでしょうか。

[青木館長]

これは宮沢賢治学会で行っている事業で、若手の研究者育成するために、全国の大学にチラシを送ってゼミ生を対象としてオンラインでやっているものです。今年は32人の参加があり、この事業の卒業生が宮沢賢治学会で発表するなど繋がりができてきています。

[事務局 中島]

ありがとうございました。玉山会長委員の皆様、大変ありがとうございました。本日いただいたご意見は、今後の宮沢賢治イーハトーブ館の運営に生かしてまいります。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。それでは、以上をもちまして、宮沢賢治イーハトーブ館運営審議会を閉会いたします。皆様、ありがとうございました。